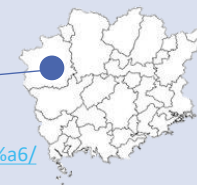


「リンドウ」の生産量 西日本一の産地

JA晴れの国岡山 新見花卉部会（新見市西方1406）

TEL：0867-72-3134 / URL：<https://www.ja-hareoka.or.jp/tag/%e3%83%aa%e3%83%b3%e3%83%89%e3%82%a6/>



◀ 岡山の魅力発信 ▶

HPはこちら▶



経営概要

経営面積	約5.2ha（リンドウ約5ha、キク・洋花約0.2ha）
主な業務	リンドウ、キク等の生産、販売
労働力	部会員数：28戸（うちリンドウ栽培20戸）
取組の経緯	新見市では、2000年から、水田を有効活用するためリンドウ栽培がスタート。徐々に栽培面積や出荷量を伸ばし、2006年には県内最大の産地に。現在では、西日本一の生産量を誇るリンドウ産地として、選花場で共同選別した後、関西の各市場を中心に、岡山県や広島県の市場へ出荷されている。



取組内容

品種で咲きつなぐ 新見のリンドウ	「しなの早生」のほか、岡山県オリジナル品種である「岡山RND4号」「岡山RND5号」（おかやま夢りんどうシリーズ）など、40～50品種のリンドウを栽培。多様な品種を組み合わせることで出荷時期を分散することができ、6月中旬から11月頃までの長期出荷を実現している。
産地を支える 就農サポート	若い世代の新規就農者で、リンドウの栽培面積が拡大。 就農希望者には、岡山県新見農業普及指導センターが行う就農準備講座や親方農家での実務研修で、就農をしっかりサポート。また、都市部の農業フェアできめ細やかな情報発信など、新たな担い手の確保に取り組む。
品質と日持ちを守る 「ハチネット」の力	日持ちの良いリンドウを届けるため、2003年から「ハチネット」を導入。ネットでは場を覆い、ハチなどの受粉昆虫の侵入を防ぐことで、受粉による品質低下を抑えることができる。産地の品質を支える技術として、部会員全員で取り組み、市場からも高い評価を得ている。



今後の展望

- ◆目標出荷本数：150万本/年
- ◆目標販売金額：1億円/年
- ◆令和8年度、リンドウの生花をあしらったドレスの製作に挑戦。令和9年度以降は、結婚式などでレンタルできる仕組みづくりを目指している。

令和8年8月4日現在



日持ちが良く、高い評価を得ている新見のリンドウ



就農準備講座の様子



ハチネットで覆われた圃場



共同選花場の外観と仕分け作業